

本サービスにおける著作権および一切の権利はアイティメディア株式会社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスの出力結果を無断で複写・複製・転載・転用・頒布等を行うことは、法律で認められた場合を除き禁じます。

実録! ネット詐欺(前編):

## “ネットワーク研究者”がネット詐欺に遭った日

<http://eetimes.jp/ee/articles/1509/07/news053.html>

2015年7月のある暑い日。私は自分がインターネット利用詐欺に遭ったことに気がきました。19歳でPCを譲り受けて以来、ネットワークとともに生き、インターネットの商用発展にできる限り尽くし、自称“ネットワーク研究者”でもある私が、ついにインターネット利用詐欺の餌食となってしまったのです。

2015年09月07日 11時45分 更新

[江端智一, EE Times Japan]



数十年にわたりネットワーク業界・技術に関わってきた私が、ついにインターネット利用詐欺の餌食となってしまいました。このシリーズでは、その一部始終をお伝えしたいと思います。

家族が嫁さんの実家に帰省中、いつも通り遅くに帰宅した私は、うだるような熱さ(×暑さ)の部屋の中で、郵便物を確認していました。

ある商品を購入するため、銀行にお金を振り込んでから7日目。配送会社からの不在通知すら届いていないのを不審に思いながらも、疲れ果てていた私は、その日は風呂に入った後、布団に倒れこみました。

翌日の2015年7月29日朝の出勤前、メールに記載されていた、通販サイトの請求明細書のURLをクリックしてみたところ、下記のような表示がされて、サイトにアクセスできませんでした。

### The requested URL could not be retrieved

While trying to retrieve the URL: <http://www.murateso.pw/index.php?>

The following error was encountered:

Unable to determine IP address from host name for *www.murateso.pw*

The dnsserver returned:

Name Error: The domain name does not exist.

『変だな』と思いながら、通販サイトのURLにもアクセスしてみたところ、ドメイン名ごとなくなっていました。

(『ドメインネームサーバ』が不調なのかも……)と、自分に言い聞かせながら、商品スペック

などのキーワードを(“メモリ4GB搭載”、“HDD300GB”、“下北沢店発”)をGoogleで検索してみたら、同一内容の商品が、いくつもの怪しげな商品サイトで表示されるではありませんか。

そして、それらの全てをクリックしても、すべて「そのようなドメイン名はない」(上記の表示と同じ)と表示されます。

やられたあ——!

そうです。私は、いわゆるネット詐欺(インターネット利用詐欺)に引っ掛かったのです。

- 19歳の時に先輩から(彼が使いこなすことができなかった)PCを譲り受けてから、PC通信、ISDN、電子メール、Webの立ち上げ期に立ち会い、
- IPネットの研究開発やIETFへのドラフト提出、そして、ネットコマース(セキュリティを含む)の発明も何本か特許出願し、「微力ながらもインターネットの商用発展に寄与し、共に生きてきた」と自負し、
- 今や、日常的に、Amazon、楽天、ヤフオク!などを使い倒して、

ネットワークと共に生きてきたこの私が、ついに、ネット詐欺の被害者になる日がやってきたのです。

□

こんにちは。江端智一です。

今回は、EtherCAT連載を休載させていただき、既に[私のブログ](#)でお知らせした通り、私が、7月下旬に引き起こしてしまった「ネット詐欺事件」の顛末(てんまつ)をご報告したいと思います。

さて、今回、「やられたあ——!!」と思った直後に、私が最初に感じたことが —— 自分でも意外で驚いているのですが —— 「恥ずかしい」という気持ちでした。

この事件に関しては、被害額も小さかったですし、黙っていても誰にもバレないものでした。

しかし、それ以上に、この話を開示することが「恥ずかしい」と思った理由は、私が、会社で、このような「ネット詐欺」の注意喚起を行う側(上司側)の人間だったからです。

私の会社は、eラーニング\*)などを使って、かなり周到なネット詐欺に関する教育が行われています。それだけではなく、自分の家族にも注意喚起することを期待されています。

\*)ネットワークとPC、スマートフォンなどを使った教育・学習システム

つまり、今回の事件、もちろん「詐欺の実行犯」が悪いのは言うまでもありませんが、2番目に悪いのは、 —— ネット詐欺に関する、会社の教育、毎日のニュース、そして行政庁や銀行から注意喚起にもかかわらず —— アホらしいくらい単純な手口に引っ掛かった「この私」。

当初、「この事件を全部ブログでぶちまけてやろう」と思っていたのですが、時間がたつにつれて「恥ずかしさ」の方が強くなってきました。ただでさえ低い社内人事評価がさらに低くなる

でしょうし。そうこうしているうちに「なかったことにしまおうかな」とすっかり弱気になってしまいました。

そこで私は、EE Times Japanの担当Mさんに「ネット詐欺に遭いましたが、興味がありますか？」と記載したメールを送付して、ジャッジを委ねることにしました。30分もたたないうちに、Mさんから「ぜひ執筆をお願い致します」とのメールが届き、こうして私は、「自分の退路を断つ」ことになったのです。

## ネット詐欺を招いた要因とは

---

事の始まりは、次女の「パパの帰省に付いて行く」の一言でした。

ここ2年ほどの間、ゴールデンウィーク、お盆、正月の会社の長期休暇は、家族を残して、一人で実家に帰省しています。実家で一人暮らしをしている父の食事、洗濯、家の修理、そして、養護ホームに入っている母の見舞い（洗濯物の回収）を行っています（普段は実家の近くに住んでいる姉がやってくれています）。

休暇期間中、実家で仕事をすることになるので、デスクトップPCや24型ディスプレイを抱えて、一人で新幹線に乗り（だから、[こういう事故](#)を起こす）、実家で[自宅と同じ環境](#)を作っています。

しかし今回、次女が付いてくるとなれば、それなりに娯楽を提供してやらなくてはかわいそうだと考えました。なにしろ、私は終日、家事か仕事をして1日を過ごし、実家にいる間、彼女はどこにも出かけることができないからです。

これらの状況を説明しても、なお、次女が「付いて行く」というので、「実家のテレビで、好きなアニメを見られるようにしようか？」と提案したところ、大変喜んでいました。

しかし、私のPCは仕事で使うので、大至急、もう1台のPCを入手する必要がありました。

そして、この――「大至急」が、今になって思えば、「ネット詐欺」の餌食（えじき）となる要因だったのです。

## 絶妙な“値付け”

---

私は、動画をスムーズに動かすだけの能力があり、かつ最も安い中古PCを、できるだけ早く入手する必要がありました。ネットで調査しているところに出てきたのが、これでした。

[【Core2Duo搭載】](#) [【メモリー4GB搭載】](#) [【HDD300GB搭載】](#)

[www.katslosa-agro.se/shop.asp?list3=761](http://www.katslosa-agro.se/shop.asp?list3=761) ▼

安心！30日間無料保証☆送料無料【中古パソコン】【単体】【Windows7 Pro搭載】

[【Core2Duo搭載】](#) [【メモリー4GB搭載】](#) [【HDD300GB搭載】](#) [【DVDマルチ搭載】](#) [【下北沢店](#)

[発】HP 8000 Elite USDT \(404635\) 【CPU】Core2Duo E7500 2.93GHz ...](#)

このPCは、私がヤフオク!で1万円程度で落札し、家族で共用しているものと同機種でした。この広告のPCでは、さらにメモリが2GB多く搭載されており、価格も8000円程度でした。そして、この8000円という価格が曲者(くせもの)でした。

―― 不信感を持たれない市場相場を知り尽した、絶妙な値付け

型落ちのPCの在庫を処分したいと考える個人業者であれば、この値段で放出しても良いだろうと考える、ギリギリの値段です(もう2000円安ければ、私も『変だな』と思えたかもしれません)。

私としては、同機種であれば、自宅のPCの設定をそのまま使えるので、セッティングでラクができそうという下心もありました。

## 奇妙な違和感

半日考えて、最終的に「買い」と判断したので、深夜にその通販サイトから、氏名、住所、メールアドレスなどを入力して、自動応答メールが届くのを待ちました。ただし、通販サイト用作った、一時使用のメールアドレスを使いました。

しかし、いつまでたってもメールが届かないので、私のサイトのメールサーバで不調が発生しているのかと思い、自分が通常使っているメールアドレスを使って、再度、連絡を取りましたが、なんというか

―― 注文手続きに対する奇妙な違和感

も感じていました。

昨夜(7/22)にhp8000 elite e7500を注文した江端と申します。

受信トレイ x



江端智一

7月22日 ☆

To hekitrade, Bcc: 自分

担当者: 哀川 里代様

昨日、以下のパソコンを注文した江端と申します。

**【中古パソコン】【単体】【Windows7 Pro搭載】【Core2Duo搭載】【メモリ4GB搭載】【HDD300GB搭載】【DVDマルチ搭載】【下北沢店発】HP 8000 Elite USDT (404635)**

~~12,800円~~ **7,680円**

現時点において、振込先銀行口座のご連絡メールを受けとれていない状況です。

指定したメールアドレスは、[XXXXXXXXXX](#) ですが、当方のメールサーバの不調の可能性があり、急ぎご連絡申し上げた次第です。

もし、上記メールアドレスでご送付されている場合は、大変お手数ですが、本メールのメールアドレスにて再送願いましたら幸いです。

お手数をおかけ致しますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

(この段階で、私の氏名、住所、電話番号、メールアドレスは、全てサイト側の手に渡ったことになります。)

返信メールは、翌日の昼に、「馬越綾子(umakoshicooks@hotmail.com)」なる人物から届きました。

Re: [新規注文]ご注文ありがとうございます。No: 38



馬越綾子 <umakoshicooks@hotmail.com>

7月22日 ☆

To diet

江端 智一 様

お世話になっております。  
ご注文いただき、どうもありがとうございました。ご注文商品は在庫あります。お振込みの確認が出来次第、発送いたします。3日～5日お届けます。銀行口座情報は以下の通りです。

銀行名:三井住友銀行  
支店名:小山支店  
支店番号:022  
口座種類:普通  
口座番号:4179515  
名義人:カンシュウシン

早めにお支払いをお願いいたします。お支払い完了から、ご連絡頂きように申し上げます。  
また何かご質問がございましたら、お気軽にご連絡ください。どうぞ宜しくお願いします。

ご利用ありがとうございます。  
ご注文内容は以下の通りです。

-----  
ご注文番号: 38  
ご注文日: 2015年07月22日(水)  
請求明細書:  
[http://www.murateso.pw/index.php?main\\_page=account\\_history\\_info&order\\_id=38](http://www.murateso.pw/index.php?main_page=account_history_info&order_id=38)

このメールアドレス(umakoshicooks@hotmail.com)を、検索エンジンで探してみてください。偽サイトのメールアドレス一覧の中で発見できます。私は、この程度のチェックも怠っていたのです。

また、メールの赤線の部分をご覧ください。不自然な日本語になっていますし、銀行口座の名義人が法人名ではなく個人名(カン シュウシン)になっています。

そして、「3～5日」と書かれている部分のことを覚えておいてください(後で説明します)。

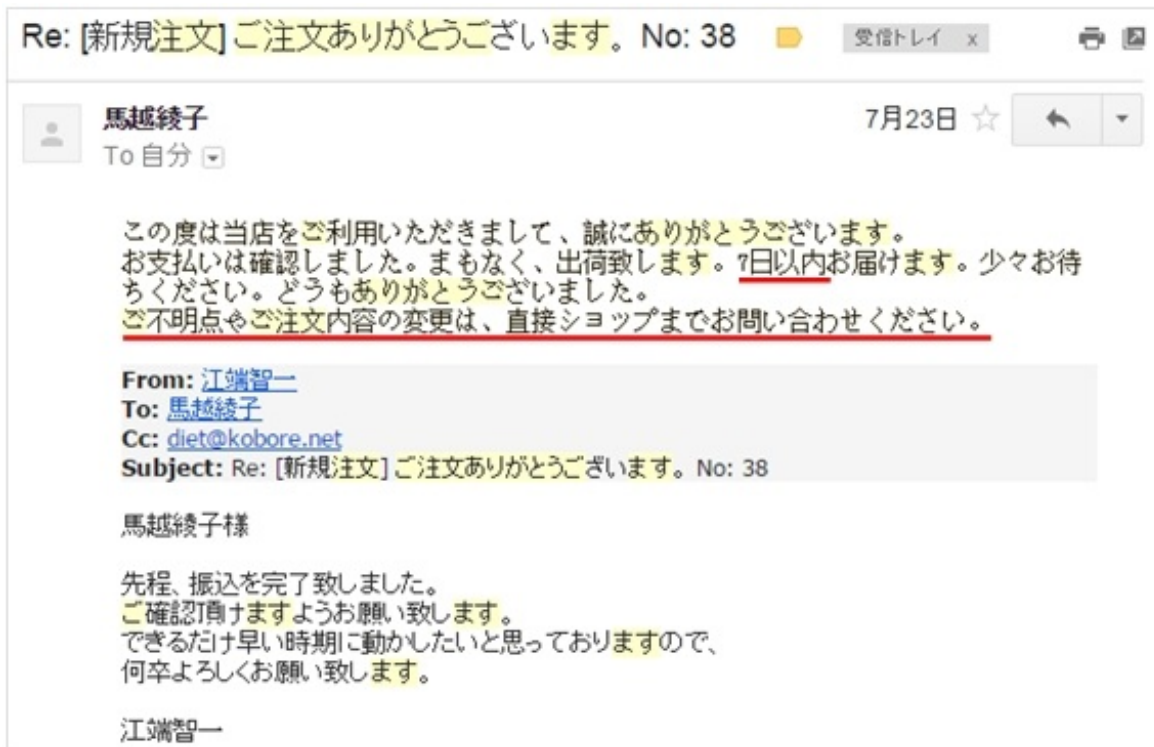
## 芽生え始めた不信感

この段階でも、なお私は、「日本で起業した外国の若者が、がんばっているんだなー」と信じている、脳内お花畑全開状態の大バカ野郎でした。

しかしよくよく考えれば、(a)正しい日本語でメールが書けない、(b)法人格を有していない、(c)今どきクレジットカード決済ではない、というだけでも、即アウトと判断しなければならないと

ころです。

私はAmazon、楽天などの著名サイトの信用力を、ネット全体にまで広げてはならなかったのです。



私からわざわざ入金の手配をしたのに、その返事がきたのは翌日でした。サービス至上主義のわが国において、そのような不誠実な顧客対応をしたら、普通は大変です。上司から怒号の嵐です。日本とはそういう国です。

しかし、その時でさえ私は、「そうか、まだ日本の文化に慣れていないんだな。これから苦労するだろうが、がんばるんだぞ」と心の中で励ましているほどでした。

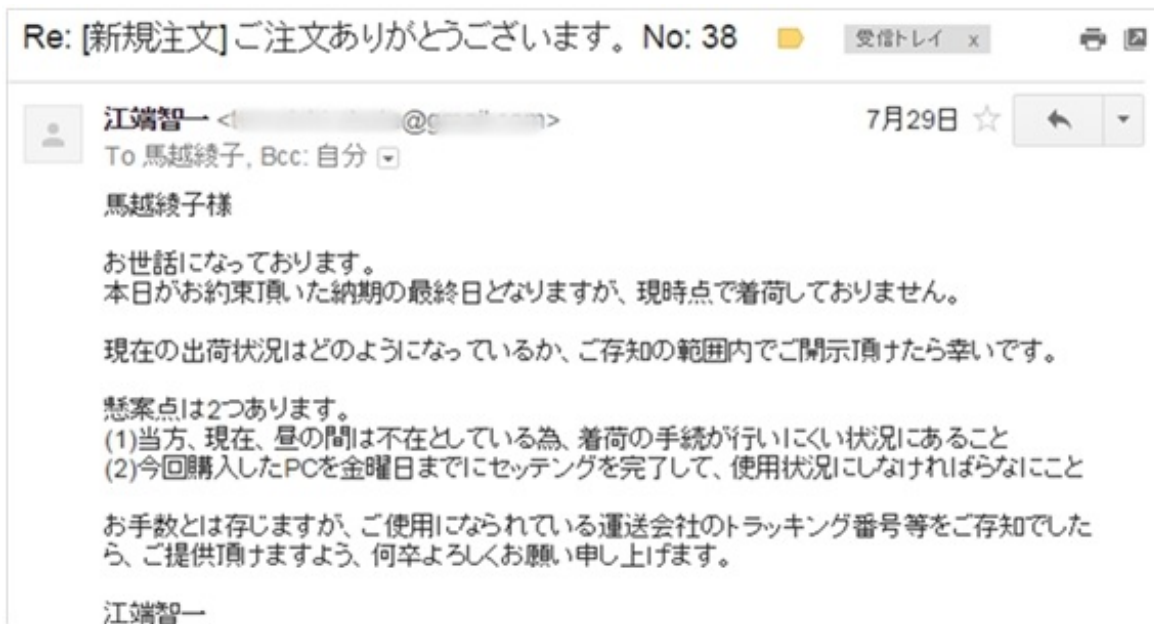
しかも、信頼感を高めるために、「ご不明点やご注文内容の変更は、直接ショップまでお問い合わせください」などと書いてきています。通常、注文確定後の変更なんぞできませんが、私は「なるほど、これが新しい差別化サービスか」と感心していたくらいでした。

ただ、気になったのが「7日以内」という言葉でした。前のメールでは「3～5日」と書いてあったはずですが、そもそも都内配送であれば、1日あれば十分です。「チクッ」と不信感を感じてきたのは、この辺りからでした。

加えて、ちょうど嫁さんが娘2人を連れて、嫁さんの実家に帰省しており、朝から深夜まで家には誰もいない状態が続いていました。ですから、私は毎日、帰宅時に、運送会社からの不在通知を確認するために郵便ボックスを確認していましたが、そのようなものは一切入っていませんでした。

その7日目に、私は、再度「馬越綾子 umakoshicooks@hotmail.com」宛にメールを送付し

ました。



「納期になっても商品が届かぬので、状況を教えろ」を、丁寧に書いたものです。しかし、その日、疲れ果てていた私は、そのメールを送付した後、布団に倒れ込みました。

そして私は、本文の冒頭、7月29日の朝を迎えることになるのです。

## “夜逃げ”した犯人

---

ヤツらは全てのドメイン名を消去して、ネット上の店舗の全てを消滅させました。

—— そこまでやるか。

いわゆる、ネットサイトの夜逃げバージョンです。

ドメイン名が分っていれば、そこからIPアドレスにさかのぼってプロバイダを特定し、警察からユーザー名簿を提出させればいい—— くらいことは知識として知っていました（実際、そういう逆探知の実験をやったことがあります）。

しかし、知識として知っていることと、現実の詐欺師にたどり着くことができるかどうかは、全く別の話です。

詐欺サイトが海外のサーバで運用されているだろうことは確実でしょうし、詐欺師の居所が海外にあれば、原則として国内法では裁けません（最近はこの[ような判決](#)も出てきていますが）。

DNSサーバのオーナー登録が、ずさんなことは、“kobore.net”というドメイン管理者であるこの私自身が、よく知っています。詐欺目的のドメイン情報が当てになるわけがなく、この情報から犯人にたどりつくことは絶望的と思えました。

と、私は、この時点で、ハタと気がついたのです。

—— 何もできないことがない。

それは、これまで、ネットワークのプログラムを何本も作成し、特許や論文を執筆してきたネットワーク研究者を自称するこの私が、このネット詐欺に対して、全く打つ手がないと悟った瞬間だったのです。



果たして、江端はインターネット利用詐欺に反撃を開始できるのか……

([中編「反撃の“虎の巻”——銀行を味方につける」](#)に続く)

- ・「英語に愛されないエンジニア」のための新行動論 [連載バックナンバーはこちら](#)
  - ・世界を「数字」で回してみよう [連載バックナンバーはこちら](#)
  - ・江端さんのDIY奮闘記 EtherCATでホームセキュリティシステムを作る [連載バックナンバーはこちら](#)
-





## Profile

江端智一(えばたともち)

日本の大手総合電機メーカーの主任研究員。1991年に入社。「サンマとサバ」を2種類のセンサーだけで判別するという電子レンジの食品自動判別アルゴリズムの発明を皮切りに、エンジン制御からネットワーク監視、無線ネットワーク、屋内GPS、鉄道システムまで幅広い分野の研究開発に携わる。

意外な視点から繰り出される特許発明には定評が高く、特許権に関して強いこだわりを持つ。特に熾烈(しれつ)を極めた海外特許庁との戦いにおいて、審査官を交代させるまで戦い抜いて特許査定を奪取した話は、今なお伝説として「本人」が語り継いでいる。共同研究のために赴任した米国での2年間の生活では、会話の1割の単語だけを拾って残りの9割を推測し、相手の言っている内容を理解しないで会話を強行するという希少な能力を獲得し、凱旋帰国。

私生活においては、辛辣(しんらつ)な切り口で語られるエッセイをWebサイト「[こぼれネット](#)」で発表し続け、カルト的なファンから圧倒的な支持を得ている。また週末には、LANを敷設するために自宅の庭に穴を掘り、侵入検知センサーを設置し、24時間体制のホームセキュリティシステムを構築することを趣味としている。このシステムは現在も拡張を続けており、その完成形態は「本人」も知らない。

本連載の内容は、個人の意見および見解であり、所属する組織を代表したものではありません。

## 関連記事



### [「海外で仕事をしたい」なんて一言も言っていない!](#)

世の中にはいろいろな方がいますが、大きく2種類の人間に大別できます。「英語に愛される人間」と「英語に愛されない人間」です。



### [エンジニアが英語を放棄できない「重大で深刻な事情」](#)

今回は、皆さんの英語に対する漠然とした見えない不安や、将来、海外に放り出される可能性を、「目に見える不安」、すなわち「数値(確率)」として、きっちり提示したいと思います。私たちエンジニアの逃げ道が全てふさがれていることは明らかです。腹をくくって「英語に愛されないエンジニア」として、海外で戦う覚悟を決めましょう。



### [「サンマとサバ」をファジィ推論で見分けよ! 史上最大のミッションに挑む](#)

製品名に「ファジィ」と付けば、家電が飛ぶように売れた時代。電子レンジの開発に携わる私に突き付けられた課題は、「10種類の食品をファジィ推論で判別する」というものでした。今回は、私の代名詞とも言える、「サンマとサバの研究員」としての原点をお話します。



### [“電力大余剰時代”は来るのか\(前編\)～人口予測を基に考える～](#)

今の日本では、「電力が足りる/足りない」は、常に議論的になっています。しかし、あと十数年もすれば、こんな議論はまったく意味をなさず、それどころか電力が大量に余る時代が到来するかもしれません。

